

地域まるごと健康づくりを医療・介護・福祉の事業を通して支援しています

先輩研修医からのメッセージ

2025年度研修医 潤 彰太（三重大学卒）

徳島健生病院は、病床数186床を有する中規模病院で、一般急性期病棟・地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟・医療療養型病棟の4つの病棟を中心に診療を行っています。2年間の初期研修のうち、院内研修は約1年で、主に内科・外科・救急をローテーションしながら、幅広い臨床経験を積むことができます。

私は現在、内科を研修中ですが、たとえば昨日は胆管炎、今日は糖尿病といったように、臓器別の垣根なく多様な疾患を診ることができます。毎日が学びの連続です。また、内科研修中であっても、外科の先生が必修手技などを丁寧に教えてくださるなど、診療科を超えて研修医を育てる体制が整っており、忙しいながらもとても充実した研修生活を送っています。指導医の先生方は、私たち研修医一人ひとりの理解度やキャパシティを常に気かけ、興味や技量に応じて研修内容を段階的かつ柔軟に調整してくださいます。そのため、自分のペースで無理なく、着実に実力を伸ばしていく環境が整っていると実感しています。急性期から在宅医療まで一貫して患者さんと関わることができますので、病気だけでなく、その背景にある生活や社会的側面にも目を向けながら、患者さんから学び、医療を実践するという医師としての基本的な姿勢を自然と身につけることができると感じています。

さらに、当院は全日本民主医療機関連合会（民医連）に所属しており、月に1回程度、中国・四国地方の関連病院の研修医同士で症例報告や臨床推論を行う勉強会に参加しています。県を越えて同じ立場の仲間と交流し、互いの研修環境や進路について情報を共有することで、視野が広がり、大きな刺激を受けることができます。地域に密着した医療に取り組みながら、広域的なつながりの中で学びを深められるのは、当院の魅力のひとつだと思います。

実習や病院見学、さらには皆さんと一緒に働くことを、心から楽しみにしています！



引き継ぎ当院で研修可能な診療科

専門医研修

「総合診療専門研修プログラム」（3年）

サブスペシャリティ研修

「家庭医療専門医研修プログラム」
(2年又は3年)

研修医募集 のご案内



徳島健生病院

<基幹型臨床研修病院>

卒後臨床研修評価機構
認定病院

Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
JCEP



【榜榜科】

内科（呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、神経内科）、外科、肛門外科、麻酔科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、眼科、小児科、精神科、心療内科、脳神経外科、放射線科

【病棟構成】

一般急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養型病棟（合計186床）



卒後臨床研修プログラムの紹介

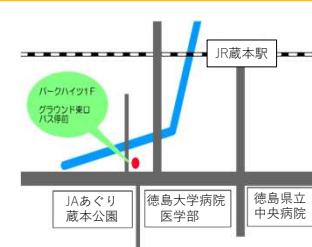
外来医療から入院医療、そして在宅医療まで継続的に包括的なケアを提供できる総合的な医師への成長を目指しています。将来的に医療・介護・保健活動を担っていくために必要な知識・技能を修得し、患者さんや地域に求められる医師を目指します。専門化・細分化している現代医療の中で、臓器や疾患に限定せず総合的な診療ができること、患者さんの抱える問題を生活や社会背景も含めて受けとめるチーム医療が特徴です。

徳島健生病院

〒770-0805 徳島県徳島市下助任町4丁目9
TEL (088) 622-7771 (代) / FAX (088) 612-0670

学生サポートセンター

〒770-0044 徳島県徳島市庄町1丁目14-6-101
TEL (088) 633-3224



徳島健生病院を基幹として研修を行うプログラムです

十分な研修期間を設け 目標達成にむけ多様な common disease を経験できるよう工夫しています

医師としての成長にふさわしいフィールドがあります

二次救急指定病院

日本医療機能評価機構認定病院

研修Schedule・概要紹介

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年 次	導入期・内科・眼科				小児科		救急部門		救急 (麻酔科)		
	一般外来 可		一般外来								
	副直 可		副直可		健生きたじま クリニック		徳島市民病院		※ 1		徳島健生病院

(※1 徳島市民病院、徳島大学病院、徳島県立中央病院)

2 年 次	外科・整形外科	精神科	産婦人科	地域医療	内科	選択期間
	一般外来 可			一般外来/在宅医療		
	副直 可				副直可	

(※2 藍里病院、むつみホスピタル、TAOKAこころの医療センター) (※3 つるぎ町立半田病院、徳島市民病院)

(※4 健生阿南診療所、健生西部診療所、健生石井クリニック)



【 CPC 】



【 職員急救学習会 】



【 医療講演 】



医療生協の特徴を活かした研修

『地域とともに、いのちと健康を守る医師へ』

当院の研修では、地域の人びとの健康と暮らしを支える医療の実践を通じて、医師としての視野と力を育みます。研修医は医療生協の一員として、地域の課題に寄り添いながら、健康づくり活動に積極的に参加します。地域組合員の支部を担当し、班会や学習会では講師として住民と直接ふれあい、健康チェックや予防啓発など、地域まるごとの健康づくりをすすめる医療活動に取り組みます。

実習案内 /



病院実習・見学は随时受け付けています

当院では、研修申し込みに際し、病院の見学または実習を必須としています。実際の雰囲気を直接見て感じていただいた上でのご応募をお願いしています。半日の見学から数日間の病院実習までご要望に応じ調整可能です。

【病院実習申し込み先】

電話 088-633-3224 (学生サポートセンター) メール t-igakusei@kenkou-seikyou.com

<臨床研修の理念>

医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野に関わらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるプライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身につける

<研修プログラムの基本方針>

1. 患者の健康上の諸問題に適時・的確に対応できる医師となるべく、患者を全人的に診ることができます
2. 健康増進活動拠点病院(PHP)としての役割を理解し実践する
3. 医師・看護師・コメディカル部門等との連携と協力による“チーム医療”を実践し得るコミュニケーション能力を身につける
4. 患者やその家族の立場に立った医療の実践ができるよう人格の涵養を目指す
5. 患者やその家族との十分なコミュニケーションの下に総合的な診療をおこなえる
6. 患者ならびに医療従事者にとって安全な医療を遂行し安全管理の方策を身につける
7. 生涯学習および自己学習を理解し実践する

研修記録、評価および研修修了について

▶ オンライン臨床教育評価システム (PG-EPOC) と病院独自評価を用いて行います

▶ 研修修了判定は、到達目標達成度を確認し、協力型病院・施設の指導者を含めた総合的な評価により行います

処遇および募集、応募

【処遇】

- ▶ 身分: 正職員 (常勤職員)
- ▶ 給与: 徳島健康生活協同組合の給与規定による
1年次 月給 313,500円
2年次 月給 363,500円
賞与 2回/年、昇給 1回/年、残業・宿直・通勤手当などあり
- ▶ 学会活動: 学会出張は年間2回まで病院にて費用負担
学会会費は1学会を病院にて費用負担
- ▶ 保険: 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償保険
- ▶ 基本的な勤務時間: 8:30~17:30 (時間外勤務あり)
- ▶ 休日: 土曜、日曜、祝日、年末年始
- ▶ 休暇: リフレッシュ休暇、年次有給休暇、慶弔休暇、介護休暇、産前産後休暇、育児休暇
- ▶ 宿直研修: 平均 2回/月
- ▶ 健康診断: 2回/年
- ▶ ストレスチェック: 1回/年
- ▶ 宿舎の提供: なし (住宅手当を支給 22,000円)

【募集】

- ▶ 定員: 3名
- ▶ 選考方法: 面接、小論文
- ▶ 応募資格: 医師国家試験合格見込みの者
- ▶ 応募期間: 5月 (随時受付可)
- ▶ 選考期間: 7月~9月 (随時)
- ▶ 出願書類: 履歴書 (顔写真添付)

医師臨床研修マッチングに参加します

【応募先/お問い合わせ先】

〒770-0805 徳島県徳島市下助任町4丁目9
徳島健生病院 医師臨床研修センター
電話 088-622-7771 (代表)
メール ihibu@kenkou-seikyou.com

修了者の進路

徳島健生病院	外科・総合診療科
徳島大学病院	内科・外科・整形外科・精神科
長野中央病院	総合診療科
日産厚生会玉川病院	内科
その他、医療系一般企業 など	



当院以外の研修先も自由に選択可能です